

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『若者と地域観光

——大都市のオルタナティブな観光的魅力を
探る』

杉本興運、磯野巧編著／ナカニシヤ出版発行／
2021年4月／A5判／244ページ／2,530円(税込)

本書は、主に地理学や観光学を専門とする若手研究者グループが、東京大都市圏における若者による観光・レジャーの行動や空間の特性を分析したものである。まず、心の豊かさを重視し、個性を大切にしている今の若者の特徴を、余暇生活、文化消費および情報行動の視点で整理したうえで、東京大都市圏における若者の日帰り観光・レジャーの行動特性やソーシャルメディア利用実態などについて主に量的な調査・分析を行っている。次に、若者が好んで行う傾向にあるアニメ聖地巡礼や東京都が受け入れている訪日教育旅行といった観光・レジャー形態の活動について場所の特性から検討を行っている。そして、経済活性化がもたらされた大久保コリアタウンなど主に若者向けの観光資源・施設の特性や、地域や事業者による若者向けの観光需要への対応について検討を行っている。

目次：若者の視点からみる地域観光の今／若者特有の観光行動の様相／若者の観光を支える地域の受容基盤／ほか
古森□

『カーボン ZERO 気候変動経営』

EY ストラテジー・アンド・コンサルティング編／
日経 BP 発行／2021年6月／A5判／288ページ／
3,080円(税込)

2015年のパリ協定採択以降、企業による気候変動への取組みがより強く求められるようになってきている。従来、社会のために良いことをしているという文脈で捉えられがちだった気候変動対策は、今や多くの企業にとって当たり前のものとなりつつある。脱炭素に対する自社のスタンスを明確にできない企業は顧客から選ばれず、競争力を落とす。ひいては、投融資の対象から外され資金調達に支障をきたす可能性をも孕んでいる。本書はこのような問題意識のもと、気候変動問題が企業経営を構成するあらゆる側面に対して及ぼす影響について整理し、そして読者自身が経営戦略の変革を考えるきっかけにすることを狙いとしている。

目次：気候変動をめぐる国際潮流／気候変動と金融機関・投資家／気候変動と経済安全保障／気候変動経営／気候変動対応の事業変革／TCFDシナリオ分析／脱炭素技術をサプライチェーンに取り入れる／気候変動とサーキュラーエコノミー／気候変動と行動科学／日本を救う「50年経営」／未来を共創する
原□

新着情報（2021年8月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 国土交通白書 2021——令和3年版 国土交通省編 サンワ 2021年8月
- 2 国土交通六法（社会資本整備編）令和3年版 国土交通省監修 東京法令出版 2021年8月

- 3 交通小六法 令和3年版 交通関係法令研究会編
大成出版社 2021年7月
 - 4 近畿の交通・観光行政 2021 近畿運輸局企画・
編集 同局 2021年7月
 - 5 公共交通のトリセツ Vol.1 トリセツ編集会議
編, 土井勉, 井原雄人, ほか著 トリセツ編集
会議 2021年5月
 - 6 100人の村で考える地域公共交通 中嶋伸恵編,
土井勉, 福本雅之著 公共交通のトリセツ編集
委員会 2021年8月
 - 7 新しい「日本の歩き方」——まだまだ知らない
魅力がいっぱい, 旅で元気になろう 山谷えり
子 扶桑社 2021年1月
 - 8 京成グループ要覧 2021 京成電鉄編 同社
2021年9月
 - 9 国鉄東京駅——大動脈の昭和史, 変わりゆく駅
の記録 荒川好夫, RGG グラフィック社
2021年7月
 - 10 宝塚歌劇団の経営学 森下信雄 東洋経済新報
社 2021年3月
 - 11 JRバスのすべて (I) (II) 鈴木文彦 クラッセ
2021年5月
 - 12 日本コンテナ航路一覧 日本海事新聞社 同社
2021年8月
 - 13 情報通信白書 令和3年版——ICT白書: デジ
タルで支える暮らしと経済 総務省編 日経印
刷 2021年7月
 - 14 最前線で働く人に聞く日本一わかりやすい5G
中村尚樹 プレジデント社 2021年7月
 - 15 都市科学事典 横浜国立大学都市科学部編 春
風社 2021年2月
- <外国書>
- 16 TRAM ATLAS Nordeuropa (Northern
Europe) [第2版] Robert Schwandl 編
Robert Schwandl 2021年
 - 17 U-Bahn, S-Bahn & Tram in London——
Städtischer Schienennahverkehr in der
britischen hauptstadt Urban Rail in the
British Capital Andrew Phipps Robert
Schwandl 2021年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『通運辞典』

運輸調査局編／小運送協会発行／1952年

本誌第7巻第4号(1950年10月)の記事「通運辞典原稿成る」には、本書の編集目的や内容が記されている。それによると、端末輸送である通運事業は、戦後間もない日本の経済自立にとって非常に重大であるにもかかわらず、鉄道輸送等の「大運送」に比べて社会の認識が浅く、従業員に対しても、戦後の混乱の影響で国内経済や合理的経営・民主的労働に関する教育が十分でなかったという。そこで、通運事業への一般の認識と理解を深めると同時に業務に必要な知識を備え、かつ新任従業員や研究者の指針となる辞典を編集することが、交通経済研究所の前身・運輸調査局初代理事長である片岡諤郎の「宿望」であった。通読すると、辞典本来の意味をはるかに超えた丁寧な描写から当時の様子がうかがえる。 田邊□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究をされている方へ蔵書の一部を公開しています。詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室
住所：東京都台東区上野7-1-1 (〒110-0005)
電話：03-3841-4165/FAX：03-3841-4859
電子メール：Library@itej.or.jp
ホームページ：https://www.itej.or.jp
最寄駅：JR/東京メトロ上野駅から徒歩3分

【お知らせ】ホームページで「蔵書オンライン検索」を公開しました。交通を中心とした図書・雑誌が検索できます。どうぞご利用ください。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳